

■2020前期「音楽情報科学」履修について■（長嶋）

2020年前期はCOVID-19対策のため、全面的に学生は学内入構禁止、対面授業でなく全て遠隔授業となりましたので、例年とは全く異なる特別対応として進めます。履修を考えている学生はこの案内をよく読んで、条件を満たしていることを確認して下さい。

遠隔授業の中でも教材(レポート課題の材料)として紹介しますが、まずは以下の「SUACインストール」(part1～part5)をザッと眺めてみて下さい。先輩の膨大な記録です。

<http://nagasm.org/1106/installation/>

デザイン学科・新3回生向け前期「音楽情報科学」(長嶋)は、このようなインストール・メディアアートなどに有効なインタラクティブなプログラミングと、関連してマルチメディア心理学などを学ぶ科目で、「インタラクション領域」あるいは「ビジュアルサウンド領域(インタラクティブ系)」の学生を対象とします。マルチメディア・プログラミング環境の”Max”を活用していくために、積み上げの基礎として、すでに2回生前期「サウンドデザイン」か、あるいは2回生後期「メディア数理造形演習」の履修で”Max”を学んでいることを履修の条件とします。このいずれも履修していない場合には、例年であれば「サウンドデザイン」(長嶋)を2回生と一緒に履修することを条件として、さらに事前に[内線6215 or メールnagasm@suac.ac.jp]でアポを入れての事前相談を必須としていますが、今期については基本的に履修を推奨しません。

この科目ではメインの環境として「Max7/Max8」を使います。これはSUACが開学した2000年からマルチメディア室のMacに導入しているものです。学生がマルチメディア室に来ることが出来ない今期については、Max8開発元の米国Cycling74社と連絡を取り合い、この科目を受講する学生の自宅/下宿のPC(Windows/Mac)にMax8をインストールして期間限定のSUACライセンスを個々のPCに設定します。詳しくは以下を見て下さい。

http://nagasm.org/1106/Max8_COVID-19/

そこで、自宅/下宿で上記の条件(ネット接続、PCのスペック)を満たせない学生については、今期の「音楽情報科学」は申し訳ありませんが、受講できないこととなります。遠隔授業では、長嶋のWebサイトに置いた教材ページを拠点として講義を進めて、メールによる課題提出、ときにはZOOMを使ったWeb会議室のライブ指導によって補足していく方針です。manabaはこの教材ページの入口としてのみ使用します。

今年はこのところ進めている「マルチメディア錯覚」のテーマでの調査/検討/試作とともに、SUAC発で公開している新・触感/触覚センサシステム”PAW-double”を受講者に発送して、これを活用した、福祉/ウェルネス領域に役立つインストールの創造を目指します。お互いの健康が何より大事な時期です。この状況を理解した上で履修登録して下さい。

以上